

御企り第10号の2  
令和5年11月19日

御嵩町リニア発生土置き場計画審議会  
会長 三井 栄 様

御嵩町長 渡辺 幸伸

## 御嵩町リニア発生土置き場計画に係る評価等について（諮問）

御嵩町内に計画されているリニア発生土置き場計画の解決に向けて、今後、東海旅客鉄道株式会社との協議に臨む方針について貴審議会の意見を求めます。

### 諮問理由

本町を通過するリニア中央新幹線の工事計画では、その大部分がトンネルに当たり、町内工区の工事掘削では、要対策土を含む約90万 $\text{m}^3$ の発生土が生じる計画となっています。

本町は、リニア建設事業の沿線町として、リニア開通の早期推進を求めている立場は変わりませんが、事業者である東海旅客鉄道株式会社（以下「JR東海」といいます。）から町内での発生土の置き場計画を提案され、これまでその対応を協議してきました。

しかしながら、JR東海の置き場計画については、地元から反対や懸念が表明されており、また、町民からの意見も様々な状況にあります。

JR東海と町及び町民が解決に向かって真摯に共に協議を進めていくには、盛土の安全性や自然環境、生活環境への影響など、地元を含む町民からの計画に対する意見を多方面から集約し、それぞれの理解や合意を得た検討、評価が必要と考えています。

以上を鑑み、リニア建設工事に伴う発生土の置き場計画の解決に向けて、今後、JR東海との協議に臨む方針について貴審議会の意見を求めるものです。